



子どもたちの、学びの、その先へ

～ 見える学校・安全で安心な学校・地域で学ぶ学校を目指して ～

校長 佐藤 清悦

教育活動への一層の理解と信頼を得るために、職員一同、丁寧と笑顔を大切に取り組んでまいります。また、児童生徒が安全で安心な教育環境のもと、健やかに成長し、生きる力を育み、学んだことを将来へとつなげられるよう、以下の視点に立ち、日々努力してまいります。

- 1 家庭や地域社会に開かれた教育課程と見える授業実践に努め、児童生徒の学びの進化と、学びに向かう力が育まれるように取り組んでいきます。
- 2 各学部や各学校との接続による、段階的な進路指導の充実や進路実現に向けた関係機関との情報共有・連携を図り、地域社会への円滑な移行に取り組んでいきます。
- 3 いわき市内の特別支援教育の充実と共生社会の形成に向けて、相談支援に努めるとともに、多様な学びの場として、地域の学校・文化的活動等との「交流及び共同学習」等に積極的に取り組んでいきます。

**教育目標**

- よく考え学ぶ人
- 心豊かな人
- じょうぶな人

**努力目標**

- (1) 学部間の接続をより意識した各教科の年間指導計画を作成し、授業を行いながら検証を進めていく。
- (2) 新学習指導要領における育成を目指す資質・能力をバランスよく育むことができるように、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。

**三つの資質・能力を育む各教科の授業づくり**

「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性の涵養」といった三つの資質・能力を育む各教科の授業づくりを進めます。

**<指導力の向上>**

- 「特別支援学校教科指導充実事業」を活用し、三つの資質・能力を偏りなく育成できるように単元や題材の内容や時間のまとまりを見通した授業づくりに努めます。
- 新学習指導要領の理解を深め、児童生徒に求められる資質・能力を育むために「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点から授業改善を図ります。

**<体験活動等の充実>**

- 地域連携担当教職員を中心に地域の教育資源や学習環境を有効に活用しながら、校外学習や体験学習を行い、児童生徒が社会の中で生きる力を育む授業実践に努めます。

**「見える学校」**

**進路実現・自己実現を目指して**

進路指導や交流及び共同学習の充実を図り、生きる力を育みます。

**<進路指導の充実>**

- 進学や就労に向けての情報提供や進路相談、事業所見学等を実態に応じて行い、関係機関と連携して進路指導を進めていきます。
- 「本人の願い」を大切にし、小学部から段階的な進路指導を行い、主体的に進路を考える力を育てます。
- 本人に最も適した進路選択ができるように情報収集を行います。

**<交流及び共同学習の充実>**

- 学校で学んだことを活用して、交流及び共同学習等を進めることで社会性や豊かな人間性を育むようにします。
- 「風と雲のまつり」や学校公開等を通して地域の方々とのふれあいを大切にします。

**「安全で安心な学校」**

**地域におけるネットワークづくり**

チームでつなぐ地域支援センターを目指します。

**<地域支援センターの充実>**

- 地域支援センター「かぜくも」は、共に育つ共生社会の形成に向けて、教育支援アドバイザーと共に各関係機関との連携を図りながら、地域とつなぐ相談・支援の充実に向けて取り組みます。
- 次の三つの柱を中心に地域支援に努めます。
  - ①幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校への支援（出かける支援、ミニセミナー）
  - ②早期教育事業（かぜくもひろば、かぜくも教室、かぜくも相談室）
  - ③地域につなげる支援
- 特別な支援を必要とする子どもたちの就学前から学校卒業後までの切れ目のない相談支援のさらなる充実を図ります。

**<地域への情報発信>**

- 家庭や地域社会に「見える」学校を目指し、通信やホームページ等で児童生徒の様子を発信します。

**「地域で学ぶ学校」**